

文芸コーナー

短歌

若い時気力もあろうたくましく八十路坂けわしく思ひ
カルミヤの密吸いに来て紋白蝶あでやかな舞見せる優しさ
新緑の五月の空に鳥唄う赤白ピンクと野に花笑ひ
うす暗き谷間を行けば滝の音しぶきに耐えてイワタバコ映ゆ
徒然に歌詠みすれば春の雨ことばもいらぬがめけるかな
訪ねくる人も無ければ終日を大地に座して雑草を抜く
ときならぬ春の嵐が雪をおきじつとうつむくラッパ水仙
議事堂にこわいものなしおれ無罪次の総理はわしがなる
朝霧のこもる木立に朝日透けやさしき光我をうかばす
老いの日々年を重ねて久方に友と集へば笑いの絶へぬ今日の一
俳句
櫻散り新緑に成り初夏の訪れ
池田 節子さん(原田南町)

ミニ☆トピックス



6月5日 落合町福地地内

お笑い川柳マツカ



野良の昼腹の時計が時を告げ

鈴木 繁實さん(川上町地頭)

市民のページへのお便りを募集

- ▶ 地域の行事やグループの活動など身近な出来事、地域の自慢(200字程度。写真添付可)
- ▶ イラスト、絵手紙、絵画などの作品、短歌・俳句・川柳など(自作の未発表のもの。作品は写真をお送りください)
- ※住所・氏名・年齢・電話番号を明記し投稿してください。ペンネームを希望される場合は、その旨お書きください。
- ※投稿多数の場合は、すべてを掲載できないことがあります。また、お便りは表記等を一部編集させていただくこともあります。原則として原稿や作品は返却できません。あらかじめご了承ください。
- ※締切は、掲載号の前月25日(閉庁日の場合は翌開庁日)
- 問い合わせ・送り先
〒716-8501(住所不要) 広報たかはし「市民のページ」係
(☎)0210・Eメール hisyo@city.takahashi.lg.jp

すこやかスマイル

(応): 応募者

 小川 拓己ちゃん (成羽町星原) 平成21年6月4日生まれ 「祝3歳!兄弟仲良く元気に大きくなってね♡」 (応) 父・昌一さん 母・美幸さん	 貝原 乙葉ちゃん (落合町阿部) 平成22年6月8日生まれ 「乙葉の笑顔でいつも癒されてるよ♡ありがとう♡」 (応) 母・雅世さん	 藤森 悠希ちゃん (津川町今津) 平成23年6月10日生まれ 「元氣いっぱいすくすく育ててね♡」 (応) 父・啓司さん 母・涼子さん	 坂本 新ちゃん (原田南町) 平成21年6月13日生まれ 「Go for broke それいけ!新さん」 (応) 父・正直さん
 前田 真菜ちゃん (落合町阿部) 平成21年6月16日生まれ 「お姉ちゃんと仲良く明るく元気に育ててね。」 (応) 母・太佳子さん	 西村 海音ちゃん (旭町) 平成22年6月18日生まれ 「ねえね大好き♡かのかんこれからも仲良しでいてね!」 (応) 父・佳修さん 母・美雪さん	 佐久間 健瑠ちゃん (伊賀町) 平成22年6月19日生まれ 「大好きな電車に乗って遊びに行こうね!」 (応) 母・美絵さん	 石村 夏希ちゃん (高倉町大瀬八長) 平成22年6月19日生まれ 「今年はなっちゃんが肩車でヤトサを踊るぞ!」 (応) 父・勝利さん
 池本 遠ちゃん (成羽町成羽) 平成23年6月21日生まれ 「祝1歳☆元氣に大きく育ててね!」 (応) 父・誠さん 母・静代さん			

広報紙の発行月に1歳、2歳、3歳の誕生日を迎える市内在住のお子さんの写真を掲載します。写真裏面にお子さんの氏名(ふりがな)、性別、生年月日、住所、応募者の氏名と続柄、電話番号を明記し、20字内のコメントをつけ、前月の25日(閉庁日の場合は翌開庁日)までに送ってください。応募多数の場合は先着順とします。なお、応募された写真は返却できません。

【送り先】〒716-8501(住所不要) 広報たかはし「すこやかスマイル」係
 ※市ホームページ「電子申請システム」からも応募できます。

長寿おめでとうございます

5月に100歳(明治45年生まれ)の誕生日を迎えられた藤井さんを、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。
 市内で100歳以上の方は5月31日現在で38人(男性8人、女性30人)。



藤井 信恵さん
 (備中町西油野・100歳)

あいさつ運動で、被災地を元気に

私たち「G.O.D.M.O.R.N.I.N.G. T.A.K.A.H.A.S.H.I.」は、約3年前から朝の通学時間帯、児童生徒たちに声を掛けるあいさつ運動に取り組んでいます。
 昨年3月、東日本大震災が日本を襲いました。私たちがG.M.Tも何か支援できることがないかと、メンバーで話し合いました。G.M.Tの原点は、「あいさつで子どもたちを元気にしよう」。昨年9月20日、21日、福島県二本松市の浪江町立浪江小学校の玄関前で、被災した児童たちをあいさつ運動で励ます活動を行いました。



今年5月21日、22日は、浪江中学校で同じくあいさつ運動を行いました。21日には、浪江町社会福祉協議会の協力で、原発事故で警戒区域になっている浪江町の現状を視察しました。警戒区域のため、震災が起きたときの状態がそのまま残っていて、これからこの町はどうなるのだろうかと非常に不安になりました。東日本大震災の風化がすでに始まっており、テレビや新聞では、なかなか分からない現状。決して被災地を忘れてはいけません。自分の目で見ること、被災地の復興は、まだまだ遠いと感じました。G.M.Tとして、今後もできる限りの支援をしたいと考えています。